

平成30年度入園・入学式



元気に返事をする新入園児

4月7日(土)、こども園ひがしどおり(坂崎隆浩園長)、東通小学校(四戸浩校長)、東通中学校(古里利行校長)において平成30年度入園式・入学式が挙行され、130名の園児・児童・生徒が新たなスタートを切りました。

こども園ひがしどおりには、32名の子ども達が入園。入園式では、保護者のお父さんお母さんに手を引かれ、少し不安そうな表情で入場していましたが、新入園児紹介では自分の名前が呼ばれると、元氣いっぱい返事をして、お父さん、お母さんを笑顔にさせていました。

年長の園児からの、合唱やお祝いの言葉で歓迎を受け、新入園児はこども園の仲間入りをしました。



緊張しながら入場する新入児童

東通小学校には、新たに49名が入学。新入学児童は2年生から6年生の児童に拍手で迎えられ、緊張しながらの入場でしたが、新入生紹介や、四戸校長からの質問には、しっかりと大きな声で答えました。

式では、交通安全への願いが込められた黄色い安全帽が授与され、また、歓迎の言葉では、2学年児童が小学校生活の楽しさを紹介すると、新入学児童はこれから始まる小学校生活に、目を輝かせて聞きっていました。

東通中学校の入学式では、49名が新たに中学生となりました。

新入学生徒は、中間・期末テストや部活動など、沢山の新しい体験が待っている中学校生活のスタートに、とても引き締まった表情で臨んでいました。

歓迎のことばでは、東田伯生徒会長の「日々の努力の積み重ねが自分の進路を左右します。授業で分からなかったことは、そのままにせず必ず聞きましよう。」



2年生児童による歓迎の言葉



真剣な表情で臨む新入生徒



新入生代表の柁谷太一さんによる誓いの言葉

また、行事では力を合わせて頑張りましよう」という激励の言葉に対し、新入学生徒は真剣に耳を傾けながら、これから始まる中学生生活に期待を膨らませていました。

新入園児・新入学児童・生徒の皆さん、ご入園・ご入学おめでとうございます。沢山のお友達や仲間と、充実した生活を送って下さい。